

(株)柿下木材工業所(製造業(木材加工)・高山市)

「誰でもできるものづくり」に向けた取組みにより「シェア日本一」を達成

- ・ 作業工程を細分化・単純化し、障がいのある方を含め、各従業員の能力や強みを生かして職務配置
- ・ 従業員の事情に応じ勤務日数や時間を柔軟に調整。子育て中の女性や高齢者など誰もが力を発揮できる環境を整備

「飛騨の匠」で有名な飛騨高山で、照明器具用の部品を中心に様々な木製品を製造する(株)柿下木材工業所。同社が障害者雇用に取り組み始めたのは40年以上前で、その概念がまだ広く知られていなかった頃です。現在では4名が就労しています。「ものづくり」が好きな障がいのある方を雇用するにあたって、先代が目指したのが「誰でもできるものづくり」でした。

木工作业では同じ作業を根気強く繰り返せることが強みに

木工の仕事は「磨く」ことや「削る」ことなど、単純作業を根気強く何度も繰り返すことが求められます。また、部品事業では、長期間にわたって同じ品質で大量に製造する必要がありますが、一つ一つの木材に個性があり、一つとして同じものがないことに加え、異素材の板金やガラスなどと組み合わせるため、寸法に対して許される誤差が厳しい世界です。

幼少期から、障がいのある方と他の従業員が共に協力して働く姿を見て育ってきた柿下孝司代表取締役は「特に部品製造や加工、磨き作業など、反復的な作業では、着実に作業を続ける力を持つスタッフの強みが最大限発揮される場面が多い」と語ります。



製品を紹介する柿下代表

作業工程の細分化、単純化で「誰でもできるものづくり」を

同社では、木工の作業工程を細分化し、部品の固定や位置決めを行う治具の活用や改善を繰り返すことで、障がいのある方の能力や強みを生かせるよう長年にわたり調整してきました。その結果、現在では、ものづくり初心者でも簡単に作業ができる仕組みが構築されています。

また、最近では木材の自動投入機の導入などデジタル技術も活用しながら、作業工程をより省力化・単純化することにも取り組んでいます。



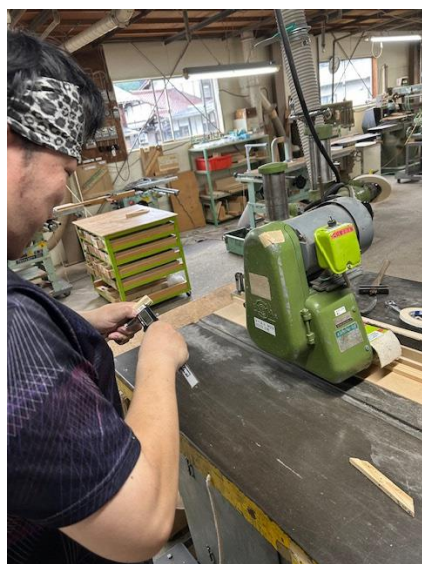
子育て中の女性従業員が活躍

加えて、同社では、子育てや介護など従業員の事情に応じて、勤務日数や勤務時間も柔軟に調整しました。このような同社の「誰でもできるものづくり」に向けた長年の取り組みにより、障がいのある方だけでなく、子育て中の女性や高齢者など、誰もが力を発揮できる環境が整いました。

各個人の強みに光を当て、会社側が従業員の能力を引き出す

同社が大切にしているのは、障がいのある方も含め、各個人が持つ強みに光を当て、能力を引き出せるよう、会社側が、各従業員に合わせて育てることです。

例えば、部品の仕上げを任せている障がいのある従業員について、「入社当初の3年間は手取り足取り指導しなければならず大変でしたが、ものづくりが好きで細かな作業を根気よく続ける強みを発揮し、現在では平面を磨く技術において社内随一の腕前を持つまでに成長しました。今では安心して業務を任せています」と語る柿下代表。同代表は「会社が、各従業員の能力や事情を考慮し、その人に合った配置や働き方に柔軟に対応してあげることが重要」と語ります。



寸法確認をする従業員

様々な方の能力を活用し、シェア日本一を達成

近年、人手不足や後継者不足などから廃業が相次ぐ木材加工業界において、同社は多様な人材の能力を生かすことで事業を拡大してきました。また高い品質基準を維持しており、大手電機メーカーの照明器具部品を長年にわたりクレームなく製造し続けています。現在では、ダウンライト用木枠の年間製造台数が2万台に達し、日本一のシェアを誇っています。

こうした部品事業で培った高品質な製造ノウハウと、職人の思いを形にする技術力が強みとなり、現在では新たな挑戦として、自社オリジナルブランドを展開し、販路開拓へとつながっています。

「私たちのような小規模な会社では、従業員に合わせた柔軟な配置や働き方を工夫することで、障がいの有無を問わず、ものづくりが好きな方々が安心して長く働ける環境を目指しています。そうした取組みを行うことで、多様な人材が集まり、活躍しています」と語る柿下代表。また、木材加工業の情報発信を強化することで業界の活性化、さらに持続可能な形で次世代への継承を目指しています。

【(株) 柿下木材工業所】 (<https://moare.jp>)

所在地：高山市下切町1683

従業員：18名（うち正社員12名、パート6名）

設 立：昭和56年（創立：昭和32年）

（令和7年8月末時点）